

用語の解説

(歳入)
市税…市民税、固定資産税など市に納められた税金
地方交付税…市町村の実状に合わせて国から交付されるもの
市債…市が借り入れたお金
国・県支出金…国・県からの補助金、負担金など
繰入金…基金の取り崩しや他会計から入るお金
自主財源…市が自ら徴収または収納できる財源で、市税、使用料、手数料、寄付金、財産収入など
依存財源…国や県から交付されたり割り当てられたりする収入のことで、地方交付税、国・県支出金、地方譲与税、市債など
(歳出)
公債費…市債の元金返済、利子の支払いに要する経費
扶助費…生活扶助、教育扶助などの経費
物件費…一般事務や施設の保守管理などの経費
普通建設事業費…道路の新設・改良や施設の新築・増築などの経費
災害復旧費…台風などで被害を受けた施設の復旧のための経費
繰入金…一般会計から特別会計、企業会計への負担金や補助金など
積立金…特定の目的のための積み立て
義務的経費…支出が義務付けられている人件費、扶助費および公債費。この経費の割合が小さいほど財政に弾力性があると言える
消費的経費…経費の支出効果がその年度限り、または極めて短期間に終わり、後年度に形を残さない性質の経費。物件費、維持補修費、補助金など
投資的経費…道路や住宅の建設など資本形成に向けられ施設等財産として後年度に残るものへの経費

企業会計名	収益的収支	資本的収支
水道事業	収入 11億7124万円	1億8681万円
	支出 11億6628万円	5億162万円
下水道事業	収入 8億9401万円	7億3077万円
	支出 8億8182万円	9億3664万円
成羽病院事業	収入 14億3796万円	1億9870万円
	支出 15億6215万円	2億7470万円
企業会計名	収益的収支損益	純利益
水道事業	総収益 11億668万円	301万円
	総費用 11億367万円	
下水道事業	総収益 8億6246万円	33万円
	総費用 8億6213万円	
成羽病院事業	総収益 14億2876万円	△1億344万円
	総費用 15億3220万円	

公営企業会計
 地方公営企業法の適用を受ける公営企業会計について、水道事業においては301万円、下水道事業においては33万円の純利益となり、成羽病院事業においては1億344万円の純損失となりました。



普通会計
 令和2年度普通会計の歳入決算額は、292億3622万円(前年度比26億5151万円・10%の増)、歳出総額は、283億5414万円(前年度比28億2033万円・11%の増)となりました。共に、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業の実施により、前年度と比較して大幅な増となりました。
 歳入から歳出と令和3年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、7億407万円の黒字となりました。

令和2年度 市の財政状況

毎年6月と12月に「市の財政状況」を公表しています。今月号では、令和2年度の決算と令和3年度上半期(4月～9月)の予算執行状況についてお知らせします。
 管理財課 ☎21・0206 / 上下水道課 ☎21・0242 / 成羽病院事務局 ☎42・3111

令和2年度に実施した主な事業

観光の振興

銀河おもてなし事業 150万円
 「WEST EXPRESS 銀河」の備中高梁駅停車に合わせ、高梁市の魅力を発信するためのおもてなしを実施。
 (停車期間は、令和2年9月11日～11月28日の水・土曜日の週2回)



学校教育の充実

ICT推進事業 1億8449万円
 小・中学校、高校において、国のGIGAスクール構想による1人1台の端末(タブレットPC)、校内LANおよび電保管庫を整備。



効果的・効率的な行政運営の確立

成羽複合施設整備事業 4億7828万円 (総事業費13億6000万円)
 成羽地域において、平成29年度から整備していた文化ホールを有する公共施設「たいこまるプラザ」が令和2年8月31日に開館。



新型コロナウイルス感染症対策

感染予防事業 6730万円
 医療機関などへマスクとアルコールを配付、また、市民に対しマスク購入機会を提供するとともにその費用の一部を助成。



地方債の現在高

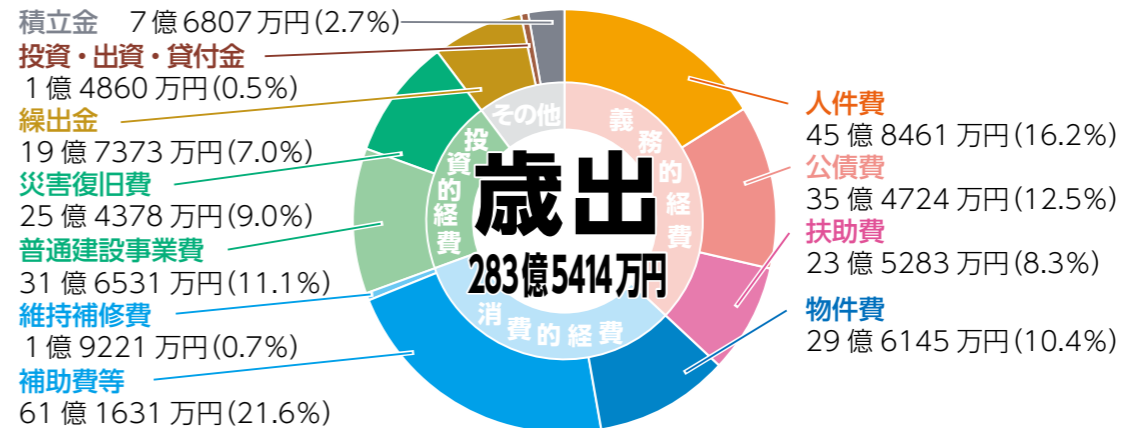
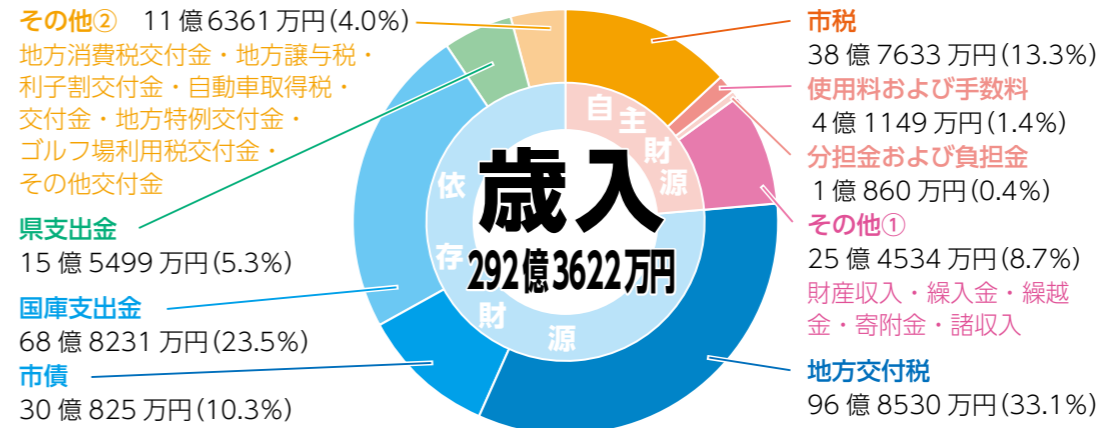
地方債の現在高は450億7327万円となり、前年度と比べ7億8494万円(1.7%)の減となりました。

基金の現在高

基金の現在高は90億3604万円となり、前年度と比べ6604万円(0.7%)の増となりました。

令和3年度上半期予算執行状況

会計名	予算額	執行額	執行率
普通会計	270億4673万円	88億7824万円	32.8%
特別会計	99億7024万円	38億7591万円	38.9%
公営企業会計	54億1593万円	16億6522万円	30.7%



特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	(事業勘定) 37億4882万円	36億2963万円
	(直診勘定) 8027万円	8027万円
後期高齢者医療	5億1348万円	5億1190万円
介護保険	(事業勘定) 50億7758万円	50億4366万円
	(サービス勘定) 7816万円	7816万円
特別養護老人ホーム	2億6077万円	2億6077万円
地域開発事業	2801万円	2619万円
巨瀬財産区	116万円	116万円
宇治財産区	545万円	33万円
有漢財産区	18万円	18万円
計	97億9388万円	96億3225万円

特別会計
 10の特別会計(普通会計に含まれる特別会計は除く)の歳入総額は97億9388万円、歳出総額は96億3225万円となり、実質収支は1億6163万円の黒字となりました。